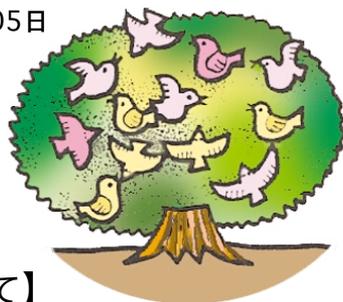


マナを一ヶ月ほどお休みさせて頂きましたが、今日から再開します。これからもよろしくお付き合いください。牧師



【2009年後半を迎えるにあたって】

(メールと重複しますが、メール環境が無い方もいらっしゃると思いますので御了承ください。)

7月に入り2009年も正式に後半に入りました。神さまから与えられているこの時は二度と戻らないものです。その意味で、大切に、地の塩世の光として実りある生き方をして、精一杯、神さまに栄光を帰す生き方をして行こうではありませんか。幾つか具体的なお勧めをしたいと思しますのでお聞きください。

●聖日礼拝を一週間の出発点、また終着点として大切にしましょう

- ・一週間という単位は神さまが私たちの為にくださった「けじめ」です。そして主なる神に対する礼拝は私たちの生活が軌道を外れないようにするための大切な土台です。神さまを第一にする人には全ての物がついてくることを信じて、大切に参りましょう。
- ・礼拝には遅れないように努めましょう。礼拝は先ず何よりも神さまに栄光をお返しする所です。自分のために「お話し」を聞きに行く場所ではないのです (It is not about you, it's all about God. ... 「40日」で学んだポイントです)。ですから最初の賛美から最上のものを神さまにささげましょう。礼拝を受ける神さまの気持も考えましょう。
- ・なるべく礼拝開始10分前には席につき、奏楽が流れる中で心を静め、あるいはまわりの人と一緒に礼拝のためにお祈りください。

●デボーション (御言葉と祈り) の仕切り直しをしましょう

- ・もしかしたら、毎日の御言葉と祈りの時間が、夏の変則的なスケジュールで崩れてしまったかも知れません。壊れた祭壇を再び築き直しましょう。朝早く起きて、主の前に静まり、一日に向け神さまとの大切な打ち合わせ会を持ちましょう。これこそ祝福の道です。
- ・教会では「クレイ」や「みことばの光」を用いて、デボーションをしている方々も多くいます。2009年後半、新たに始めたい方はいらっしゃるいませんか。牧師に御相談ください。すぐに手配します。

●できれば毎週、少なくとも月二回、「聖研小グループ」に参加しましょう

- ・初代教会の昔から小グループが生き生きしている時に教会は本当の

意味で栄え、迫害に耐え、社会を作り変える力となりました。形だけの礼拝をしている時代は、教会はいつも権力欲や過った戦争、腐敗に陥り、信仰から離れてしまいました。日曜日だけのクリスチャンは形骸化の大きな危険の中にあることを覚えましょう！

- ・クリスチャンはただ交わっても、互いの罪深さに引きずられるだけです。御言葉を学び、聖霊の感化を受けるときに、交わりは新しい知恵と知識、命を得、真に役に立つものになります。
- ・同じような生活環境の者たちが集まる小グループでこそ、生活で起きてくる様々な問題を分かち合い、祈り合うことができます。その場で共に御言葉を学ぶ時、聖書のことばを生活に当てはめる方法を学び、神の約束の確かさを証ししあう場面が生まれます。まさに、「生きた信仰の鍵は小グループに属することの中にある」のです。
- ・伝道4:9-10に「ふたりはひとりよりもまさっている。ふたりが労苦すれば、良い報いがあるからだ。どちらかが倒れるとき、ひとりがその仲間を起こす。倒れても起こす者のいないひとりぼっちの人はかわいそうだ。」とあります。どこかに属しましょう！

●奉仕に参加しましょう、人に仕える場面を作って行きましょう

- ・奉仕とは、人に仕えることを通して主イエスにお仕えすることです。私たちの人生は他を祝福するためにあるのです。
- ・教会を運営したり、礼拝を遂行したりするための奉仕もいろいろとあります。是非、自分ができそうなことをお申し出ください。
- ・聖研小グループを「是非、私たちの地域でも始めたい」と言ってくるのを牧師も牧師夫人も待っています。御自宅を開放して頂き、人を集めたり、連絡したりする、という世話役を担っていただけるなら、これほどうれしいことはありません。
- ・夏の教会学校キャンプ（8/25～28、朝9時半から午後二時半）を動かしていくために、プログラム、裏方の奉仕をしてくださる人を求めています。是非、お申し出ください。
- ・水曜日の午前中の祈祷会に御参加ください！教会員や聖研に参加されている求道者のため、国のためにと、執り成しの祈りをしています。祈りは最も神さまに喜ばれる大切な奉仕です。いちばん何もしていないように見える祈りの奉仕こそ教会を支える柱なのです。
- ・さらに具体的に・・・教会の「会計奉仕」を担って下さる方を求めています。通年の奉仕でそれなりに仕事量も多く、責任もあります。現在は牧師がしていますが、牧師が、自分の給与のチェックを自分で切っている、という状況です。健康な教会のためにも是非！■

